

所属 人間情報学部	職名 教授	氏名 國分 三輝	学位 博士（人間科学）	兼任している研究科 文化創造研究科	
研究分野 人間情報学およびその関連分野、応用情報学およびその関連分野、情報科学、情報工学およびその関連分野		研究分野のキーワード ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連、感性情報学関連、認知科学関連、エンタテインメントおよびゲーム情報学関連、情報ネットワーク関連			
学歴					
1994年03月	筑波大学第二学群人間学類（心理学主専攻）卒業（学士（人間科学））				
1996年03月	筑波大学大学院修士課程環境科学研究科環境科学専攻修了（修士（環境科学））				
2009年07月	早稲田大学人間科学研究科に博士論文を提出し審査合格（博士（人間科学））				
職歴					
1996年04月	株式会社 豊田中央研究所 研究員（～2010年3月）				
2005年10月	愛知淑徳大学 文化創造学部 非常勤講師（～2006年3月）				
2010年04月	愛知淑徳大学 人間情報学部 准教授（～2020年3月）				
2012年04月	愛知淑徳大学 大学院文学研究科（兼任）（～2013年3月）				
2013年04月	愛知淑徳大学 文化創造研究科（兼任）				
2019年04月	愛知県警察 交通死亡事故抑止対策アドバイザー（兼職）（～2025年3月）				
2020年04月	愛知淑徳大学 人間情報学部 教授				
2021年04月	愛知淑徳大学 学長補佐（自己点検・評価担当）（兼任）（～2025年3月）				
2021年06月	愛知県 自転車交通安全教育のあり方検討会議委員（座長）（兼職）（～2022年3月）				
2021年09月	名城大学 理工学部 非常勤講師（兼職）（～2022年3月）				
2025年04月	愛知淑徳大学 学修・教育支援センター長（兼任）（～2025年3月）				
2026年04月	愛知淑徳大学 学修・研究支援センター長（兼任）				
2026年04月	愛知淑徳大学 学修・研究支援センター 学修支援主任（兼任）				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
新・VRアプリを作るう: A-Frameで本格WebXR入門	単著	2025年11月	デザインエッグ社		総計198頁
学術論文					
全天球動画とミラーリング法を用いた子ども向け交通安全教育プログラムの試作と評価	単著	2024年03月	愛知淑徳大学人間情報学部 愛知淑徳大学論集人間情報学部 14		11頁～24頁
学会発表					
全天球動画を用いた危険予知トレーニング向け視行動分析システムの試作	単独発表	2024年09月	第29回日本バーチャルリアリティ学会大会(名城大学 天白キャンパス)		
作品・制作等					
その他業績					
学会等における主な活動					
受賞					
2002年08月	筑波大学心理学系 上武学術奨励賞				
2004年03月	IEEE Reliability Society Japan Chapter Outstanding Young Scientist Award				
2006年	トヨタリサーチオブザイヤー（業績表彰）（トヨタ自動車				

	株式会社より)	
2020年01月06日	感謝状	愛知県警察本部より、交通死亡事故抑止対策アドバイザーの任を通じて愛知県内の交通死亡事故脱ワーストに貢献したとして感謝状を授与された。
2022年01月04日	感謝状	愛知県警察本部より、交通死亡事故抑止対策アドバイザーの任を通じて愛知県内の交通死亡事故低減に貢献したとして感謝状を授与された。
2023年01月04日	感謝状	愛知県警察本部より、交通死亡事故抑止対策アドバイザーの任を通じて愛知県内の交通死亡事故低減に貢献したとして感謝状を授与された。
2024年01月04日	感謝状	愛知県警察本部より、交通死亡事故抑止対策アドバイザーの任を通じて愛知県内の交通死亡事故低減に貢献したとして感謝状を授与された。
2025年01月24日	感謝状	愛知県警察本部より、交通死亡事故抑止対策アドバイザーの任を通じて愛知県内の交通死亡事故低減に貢献したとして感謝状を授与された。

所属学会		
1994年04月～現在	日本心理学会	
1996年04月～現在	日本人間工学会	
2000年04月～現在	ヒューマンインタフェース学会	2012年03月～2015年03月 論文誌編集委員
2011年04月～現在	日本感性工学会	
2011年04月～現在	日本認知心理学会	
2024年05月～現在	日本バーチャルリアリティ学会	

社会活動		
2019年04月01日～2025年03月31日	愛知県警察本部より「愛知県警察交通死亡事故抑止対策アドバイザー」を委嘱。	
2021年06月21日～2022年03月31日	愛知県より「自転車交通安全教育のあり方検討会議」の委員及び座長を委嘱された。愛知県は「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車の安全で適正な利用に関する教育を推進している。3回にわたって専門家会議が開かれ、自転車の安全利用に関する課題を背景として、基本的な教育の方向性や各主体に期待する役割・取組、効果的と考えられる教育例等をまとめた。とりまとめ結果は以下で公開されている（愛知県HP） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenmin-anzen/cycle-kyouiku.html	
2021年08月	「愛知県警察交通死亡事故抑止対策アドバイザー」業務に関連し、例年開催されていたシンポジウムがコロナ禍により中止となったことに代えて、愛知県警察に対してシンポジウム相当の資料提供を行った。タイトルは「自転車交通安全教育のあり方検討状況」および「交通安全教育における心理学的ポイント」の2種類であり、それぞれ約30分の動画+PDF資料で構成した。これらについて県警職員がオンデマンド視聴した。	
2022年06月01日～2022年10月31日	愛知県（防災安全局県民安全課）が企画した「自転車交通安全教育用動画」の制作の監修に協力した。主に学校等での活用を想定した10分強の動画で、大人向け（高校生以上）と子ども向けの2本である（各外国語版もあり）。國分は2020年度に座長を務めた愛知県の専門家会議「自転車交通安全教育のあり方検討会議」のとりまとめ結果と、交通心理学の観点から監修作業を実施した。制作された動画はYouTubeで公開されるとともに（以下）、愛知県内の学校等にDVDで配付され活用される予定である。 大人向け https://youtu.be/d_8NEmqNRco 子ども向け https://youtu.be/xzordmQLVEE	
2022年12月21日	「愛知県警察交通死亡事故抑止対策アドバイザー」業務に関連し、例年開催されているシンポジウムがコロナ禍により中止となったことに代えて、愛知県警察に対してシンポジウム相当の資料提供を行った。タイトルは「自動運転時代に人間が気をつけたいこと、身を守る運転」であり、県警職員が一般向けの交通安全講話等で活用できるような資料とした。	
2023年05月22日～2023年10月27日	名古屋市（スポーツ市民局地域安全推進課）が計画している「子ども向け交通安全教育コンテンツ」の開発において、検討会委員を委嘱され、専門家としてコンテンツの仕様検討、試作、効果検証を実施した。全地球VR動画とミラーリング法を組み合わせたコンテンツとし、交通安全意識が有意に向上することを確認した。この試作コンテンツをベースに2023年度中に名古屋市が外注により本制作を実施し、2024年度より名古屋市内の小学校や、名古屋市の交通安全イベント等において活用される。最終的なコンテンツは名古屋市公式YouTubeチャンネル「まるはっちゃんぶ」で公開された。 https://youtu.be/mxW6CD98Avs?si=vOaPeyMR2pdGge52 https://youtu.be/H-zasub8vpw?si=RF9ZpkbtH0QyI0- https://youtu.be/XLscj0LUQAE?si=1yPgT3wTMrpvD5av https://youtu.be/_l4k2nshiwQ?si=UyuuACkoBF8Vyx0 https://youtu.be/slghdQTbPeE?si=G7Cs_uPg8KuyLFKA https://youtu.be/2lVDbVvLYXw?si=IKST7RIBS5GRDWqH	
2023年11月28日	「愛知県警察交通死亡事故抑止対策アドバイザー」業務に関連し、通常は対面で開催されるシンポジウムが中止となったことに代えて、愛知県警察に対してシンポジウム相当の資料提供を行った。タイトルは「正しい」を教えない交通安全教育の方法」であり、県警職員が一般向けの交通安全講話等を実施する際に参照できる資料とした。	

2025年02月12日	「愛知県警察交通死亡事故抑止対策アドバイザー」業務に関連し、通常は対面で開催されるシンポジウムに代えて、愛知県警察に対してシンポジウム相当の資料提供を行った。タイトルは「交通習慣と行動変容ステージ- 交通行動の変容に関する理論的な考察-」であり、県警職員が今後の交通安全（特に県民の行動変容）の取り組みの方針や計画づくりに活用できる資料とした。
2025年03月28日	株式会社日本テクノセンター主催セミナー「感性の見える化・定量化とデータ分析を活かした製品開発への応用」講師
2025年09月02日	子どもの交通安全教育（歩行・自転車等）における理論や事例に関し、刈谷自動車学校、岡崎南自動車学校、知立自動車学校（3校は同一経営）の加藤社長からの問い合わせに対してコンサルテーションを実施した。國分が過去に関与してきた以下の事例について資料提供をおこなった。引き続き相談があれば対応する。 ・愛知県「自転車交通安全教育のあり方検討委員会」（國分が座長を務めた）の経過と答申 ・愛知県警察交通死亡事故抑止対策アドバイザーとして國分が作成した県警向け教養資料2点（特にミラーリング法に関する理論と実践事例） ・愛知県委嘱により國分が監修をおこなった「自転車交通安全教育に関する動画教材」 ・名古屋市委嘱により國分が監修をおこなった「子ども（主に小学生・歩行者）向け交通安全VRコンテンツ開発」の成果と効果検証論文

教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
講義資料の電子ファイル公開	2010年04月～現在	2010年4月より、アカデミックポータル「授業情報」において、教材の電子公開が可能となったため、担当している全ての講義・演習について、授業内で利用した全教材を学生向けに公開した（個人情報や著作権を含むものは除く）。これにより、授業・演習内容の効果的な復習と定着をねらった。
「調査法演習」におけるWebアンケートシステムの導入と活用	2011年04月～現在	学部専門科目「調査法演習」において、受講学生に現代的な調査法としてのネットアンケートの作成・実施を学ばせることを狙い、ネットアンケート用のサーバマシンおよびソフトウェア「Limesurvey」を導入した。本システムは、「調査法演習」での活用はもとより、他の授業においても、リアルタイムに受講学生の感想を聞くためのアンケートシステムとして活用されています。同様に、2年次後期における卒業プロジェクト（ゼミ）選択のための志望ゼミ調査にも活用されている。
「マルチメディアデザイン論」におけるコメントシートの導入	2016年04月15日～現在	授業内で初めて聞いた言葉や初めて知ったこと、各回内容の理解を確認するワークなどを含んだコメントシートを作成し、毎回の授業で配付・回収した。これにより、履修者の事前知識、理解度、関心などを毎回確認して次回授業の改善を行った。また、コメントシートに書かれた質問に対して次回の授業で回答することで、さらなる理解度の向上を図った。
個人ホームページの整備	2017年02月08日～現在	個人（研究室）のホームページを整備し、以下のコンテンツを掲載した。 https://www2.aasa.ac.jp/people/mkoku/ ・教育活動 主な狙い：学生のキャリア形成のための情報提供 主な対象：進路選択中の高校生やその親御さん、ゼミ選択を控えた在学学生 主な内容：教育ポリシー、担当科目解説、卒業論文テーマ一覧、卒業生の進路など ・研究・社会活動 主な狙い：地域社会への情報発信 主な対象：研究者、企業のエンジニア、地域のかた、マスコミ・出版関係 主な内容：関心領域・テーマ、地域・社会貢献活動実績一覧、プロフィールなど ・Make 主な狙い：学生の自己啓発および反転授業用の教材 主な対象：在学学生、進路選択中の高校生など 主な内容：プログラミングへの入門方法や、スマートフォンアプリ、バーチャリアリティ、IoT(Internet of Things)などの解説とサンプルコード
2 作成した教科書、教材、参考書		
「認知心理学」「感性工学」「ヒューマンインタフェース」「マルチメディアデザイン論」「消費者行動論」用教材	2010年09月～現在	全編オリジナルのPowerPoint教材を作成した（1回あたり約50ページ）。スライド内の半分程度は図表や図版を利用した。また、数年以内のTV番組の録画やDVD等の映像素材も適宜PowerPoint内に含ませた。これにより、できる限り視覚的に理解させることをねらった。
「認知心理学」「感性工学」「ヒューマンインタフェース」用復習教材	2010年09月～現在	講義内容の復習・定着・応用を促進させるため、講義内で紹介した実験を実際に行わせたり、各種心理テストを実施・集計させたり、日常生活の中での適用事例を挙げさせたり、活用アイデアを挙げさせたりする、復習用教材を毎回準備し、実施させた。
学部独自の初年次教育科目「基礎ゼミ」の開発	2013年11月～現在	2014年度のカリキュラム改編において、大学の学びへの円滑な導入を狙った学部独自の初年次教育科目として「基礎ゼミ」を新規開講した。新規開講にあたり、「基礎ゼミ準備委員会」を組織し（委員6名）、委員を先導した。準備委員会では、授業概要・目標・授業計画を行ったうえで、学部オリジナルのテキスト（約100ページ

)を開発した。また、指導マニュアルを作成し、学部のFD研修会において担当教員向けの指導説明会を開催して、指導内容の標準化を行った。また、授業内で用いる各種の補助教材を準備した。さらに、「基礎ゼミ」の有効性を検証するために、第1回と第15回に受講生に対する授業アンケートを独自に作成・実施した。また、授業運営の改善のために、教員向けアンケートも実施した。
「フィジカルコンピューティング演習」用のテキスト開発	2016年09月30日～2025年03月31日	スマートフォンアプリ、バーチャルリアリティ、IoT(Internet of Things)等の開発方法とサンプルを網羅したオリジナルテキスト(全228ページ、サンプルコード64個)を開発し、授業で利用した。
専願制入試による入学者向けの学部独自入学前課題の作成と運用	2018年09月26日～2023年03月31日	専願制入試による入学者に対する学部独自の入学前課題について、作成ワーキンググループの一人として、課題の企画～制作まで担当した。日本語ライティングのスキル向上を目指した課題で、指定書籍(阿部弘久著『文章力の基本』)を参考にしながら、様々な問題のある文章を適切な文章に書き換える方式を採用した。45項目について各2題、合計90題の問題で構成した。2019年度入学者から本課題を実施する。
新規導入機器のマニュアル作成	2023年03月04日	専攻で新規導入した機器(プロ用360度カメラ Insta360 Pro2)の簡易マニュアルを作成した。公式マニュアルはプロ用かつ膨大であり気軽な利用が困難であった。本学での現実的な運用を踏まえ、一般の教職員や学生が利用しやすいよう配慮したマニュアルとした。
「VR制作演習」用のテキスト開発	2024年09月26日～現在	VRアプリケーションの開発方法とサンプルを含めたオリジナルテキスト(全198ページ、サンプルコード45個)を開発し、授業で利用した。
「IoT・インタラクティブアート制作演習」用のテキスト開発	2025年04月01日～現在	IoTサービス及びインタラクティブアート等の実装に必要な方法とサンプルプログラムを含めたオリジナルテキスト(全209ページ、サンプルコード48個)を開発し、授業で利用した。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
オープンキャンパスへのゼミ成果の展覧	2021年07月24日～2021年07月25日	ゼミ(卒業プロジェクト)における研究成果・制作作品をWebページにまとめ、Webオープンキャンパスに出展し、一般のお客様(特に高校生とその保護者)に本学の教育・研究活動の一例を紹介した。
オープンキャンパスへのゼミ成果の展覧	2022年07月23日～2022年07月24日	ゼミ(卒業プロジェクト)における研究成果・制作作品を、オープンキャンパスに出展し、一般のお客様(特に高校生とその保護者)に本学の教育・研究活動の一例を紹介した。
オープンキャンパスへのゼミ成果の展覧	2023年06月11日～2023年09月17日	ゼミ(卒業プロジェクト)における研究成果・制作作品を、オープンキャンパスに出展し、一般のお客様(特に高校生とその保護者)に本学の教育・研究活動の一例を紹介した。
オープンキャンパスへのゼミ成果の展覧	2024年06月09日～2024年09月08日	ゼミ(卒業プロジェクト)における研究成果・制作作品を、オープンキャンパスに出展し、一般のお客様(特に高校生とその保護者)に本学の教育・研究活動の一例を紹介した。
オープンキャンパスへのゼミ成果の展覧	2025年06月08日～2025年09月07日	ゼミ(卒業プロジェクト)における研究成果・制作作品を、オープンキャンパスに出展し、一般のお客様(特に高校生とその保護者)に本学の教育・研究活動の一例を紹介した。
4 その他教育活動上特記すべき事項		
公募制推薦入試対策講座講師	2021年07月25日	オープンキャンパス時の公募制推薦入試対策講座において、「小論文」の講師を担当した。
学科・専攻適性入試対策講座講師	2024年07月20日～2024年07月21日	
学科・専攻適性入試対策講座講師	2025年07月19日～2025年09月07日	
5 大学運営		
人間情報学部基礎ゼミ委員	2013年11月～2022年03月	
高大連携・学修IR運営委員	2014年04月～現在	
文化創造研究科FD及び自己点検・評価委員	2015年04月～2022年03月	
文化創造研究科学生研究室管理運営委員	2018年04月～現在	
FD及び自己点検・評価専門委員	2018年04月～現在	
人間情報学部独自の入学前課題WGメンバー	2018年09月～現在	
文化創造学会運営委員	2019年04月～現在	
人間情報学部オープンキャンパス世話役	2020年07月～2022年03月	

学長補佐（自己点検・評価担当）	2021年04月～2025年03月	
研究助成委員会委員	2021年04月～2025年03月	
総合情報メディア・セキュリティ委員会委員	2021年04月～2025年03月	
人間情報学部予算・施設設備運用管理委員	2022年04月～現在	
文化創造研究科長候補者選考選挙管理委員会（委員長）	2022年10月～2022年12月	
人間情報学部 学部Webページ担当	2023年04月～2024年03月	
文化創造研究科教務委員	2023年04月～現在	
教学IRワーキンググループ長（学長委嘱）	2023年10月～2025年03月	
人間情報学部基礎ゼミ委員	2024年04月～現在	
学修・教育支援センター長	2025年04月～2026年03月	
教学IR推進委員会（委員長）	2025年04月～現在	
学修・研究支援センター長	2026年04月～現在	
学修・研究支援センター 学修支援主任	2026年04月～現在	

V 資格・免許・特許等

資格・免許

2006年08月05日	トヨタ自動車株式会社 試験車運転資格 上級	株式会社豊田中央研究所の退職に伴い失効（2010年3月）
2007年02月05日	トヨタ自動車株式会社 試験車運転資格 普通指導員	株式会社豊田中央研究所の退職に伴い失効（2010年3月）

特許等

2003年04月09日	登録実用新案第3094921号	運転模擬装置
2008年03月21日	特許第4097519号	危険感受度推定装置、安全運転評価装置及び警報装置
2009年09月04日	特許第4369403号	加速感評価装置及び車両制御装置
2010年10月08日	特許第4604103号	交差点見通し検出装置
2010年11月19日	特許第4626554号	車両制御装置
2011年11月11日	特許第4858036号	車両の運動制御装置、及び加速期待値算出装置
2012年01月20日	特許第4909016号	車両の加速制御装置
2012年04月13日	特許第4967408号	車両運動設計装置及び車両運動制御装置
2012年05月11日	特許第4985056号	先急ぎ運転報知システム
2012年06月22日	特許第5018608号	走行支援装置、及び走行支援システム
2012年06月29日	特許第5024888号	運転評価装置、及び運転評価方法
2012年06月29日	特許第5024156号	運転姿勢評価装置
2012年07月13日	特許第5034922号	車両照明装置
2012年09月07日	特許第5077103号	アドバイス情報提示装置、及びプログラム

2012年11月16日	特許第5133784号	運転操作評価装置
2012年12月07日	特許第5149658号	運転評価装置
2013年03月15日	特許第5220444号	運転アドバイス装置
2013年04月26日	特許第5255945号	車両用運転評価装置